

# ちひろが描いた新潟の海



荒れる海と人魚(1973年)。「赤い蠟燭と人魚」(童心社)より

今年12月、生誕100年を迎える画才と、教えてくれたのはちひろ美術家のいわさきちひろ。生涯を通して子館・東京のスタッフ、中平洋子さんどもを愛し、平和の尊さを訴えてきた(50)だ。

彼女が、1974年に55歳で亡くなる。ちひろが見たのは上越市虫生岩戸の直前に取り組んだ絵本作品がある。上海岸だった。わずか1日のスケッチ旅越市出身の作家、小川未明の童話を原行ではあったものの、得たものは多か作にした「赤い蠟燭と人魚」だ。

これは童心社の「若い人の絵本」シリーズの1冊として、ちひろ自らが「未明を描きたい」と希望し実現したもの。員の原島恵さん(48)は「墨の濃淡と筆翌75年、未完の遺作としてラフスケッチの緩急だけで、闇夜の空と海が混じりチや習作を加え、発行された。

ちひろの長男、松本猛さん(67)によひろの晩年の到達点のひとつだと思と、「赤い蠟燭と人魚」を制作する」と話した。

ことになったのは72年の秋だったが、この本には、ほかに未明の「野は体調不良で入院を繰り返したり、ほら「月夜とめがね」島の暮れ方の話」かの仕事が重なったりしたこともある。未明とちひろの「コラボレーション」をもっとみたかった...と強く感じ

た。ちひろは東京の自宅のほかに長野県の黒姫高原に山荘を持ち、「赤い蠟燭と人魚」はそこで描かれた。

黒姫に到着して5日目、ちひろは物語の舞台となった日本海を見たいと、病を押して編集者とともに本県を訪ねる。「日本海を見ずしてこの作品は描けないと本人が強く希望したそうで



虫生岩戸の海岸。ちひろがスケッチした岩が今も見える



スケッチブックを抱えるちひろ 1960年(41歳)



本日の案内人 和田 明子 (デザイナー、ライター) 写真・和田竜哉

# 新たな表現追い求めて

ちひろがスケッチのために本県を訪れたのは1973年の冬間近。上越市虫生岩戸の海辺に着いたころ体調が悪化し、どこかで休みたいと訪れたのが旅館「前崎館」(2010年6月に閉館)だ。

そのとき対応した前崎栄子さん(81)によると、ちひろと編集者を案内したのは2階の床の間付きの10畳間。具合の悪いちひろを気遣い、毛布とこたつを用意した。ちひろは日本海の様子をもっと見たいと、ほか

の部屋にも移動して描き続けた。「後日、だんなさん(松本善明さん(92))が息子の猛さんと一緒にこあいさつに来られ、ちょうど正月だったので雑煮でもてなしました。その後、画集と一緒に「赤い蠟燭と人魚」も送られてきた。「あの風景を知っている人が見れば、どこを描いたかすぐに分かる」と前崎さん。ちひろの印象を訪ねると「優しい方だった」と話してくれた。「赤い蠟燭と人魚」には山の上の

お宮が重要な場所として登場する。前崎館のほど近くに絵とよく似たお宮、牧野神社があるため、そこもスケッチしたのかと思いきや、当日ちひろは宿から一歩も出ていなかったという。なんとも不思議な偶然だ。



赤い蠟燭がともるお宮(1973年)。「赤い蠟燭と人魚」(童心社)より



前崎館からほど近い場所にある牧野神社



ちひろは本県の温泉やスキー場を時々訪れていた。1953年、赤倉温泉にて息子の猛さんと



ちひろ美術館の常任顧問を務める松本猛さん



松本さん親子が訪ねた時の前崎館。1975年

## 人魚の姿 上越各地に

物語の舞台になったとされる上越市には人魚にまつわるものがいくつかある。小川未明文学館では、「赤い蠟燭と人魚」にちなみ、人魚と貝殻の絵があしらわれた大きな赤いろうそくが展示されている。

直江津の船見公園にはろうそくを持った人魚のブロンズ像が、海と向き合うように置かれている。前髪が切りそ

ろえられたロングヘア、うつむき加減の端正な顔立ちがちひろの描いた人魚にどこか似ている。人魚像はこれ以外にも市内各所に設置されている。

さらに大潟区の雁子浜には、「赤い蠟燭と人魚」のモデルになったとされる人魚塚伝説にちなんだ「人魚伝説公園」もある。こちら合わせて訪ねてみてはいかがだろうか。



①小川未明文学館に飾られた赤いろうそくの模型



②船見公園の人魚像

## 黒姫童話館 & 童話の森ギャラリー (長野・信濃町)

### 名作を生んだアトリエ

ちひろの黒姫山荘は1998年、黒姫童話館の敷地内に移築され、現在は「いわさきちひろ黒姫山荘」として公開中だ。黒姫童話館の入館券で見学が可能となっている。この山荘のアトリエでは「あかまんまとうげ」「花の童話集」「赤い蠟燭と人魚」などの作品が描かれた。

学芸員の山原清孝さん(44)は「二部復元したものもあるが、食器や家具などほとんどが実際に使っていたものです」と話してくれた。スポーツ万能だったちひろが愛用していたスキー道具なども置かれており、ファンにとってはちひろの息吹を感じるうれしい施設だ。



黒姫山荘内のアトリエ

## ちひろ美術館・東京 (東京・練馬区) 自宅跡 作品を常設展示

絵本美術館として77年に開館した「ちひろ美術館・東京」(開館時は「いわさきちひろ絵本美術館」)は、ちひろの自宅兼アトリエ跡に建てられている。多くの人たちから「ちひろさんの作品を常設で見たい」という声が寄せられ、それに応える形で作られた。子どもたちが人生で初めて訪れる美術館「ファーストミュージアム」として利用してほしいという思いから、作品展示の位置を通常より低めに設定している。

ほかに、授乳室が完備された「こどものへや」、オーガニック、無添加の食材をできる限り使用したメニューを提供している「絵本カフェ」、国内外の絵本3千冊が配架された「図書室」、復元された「ちひろのアトリエ」などを備えている。

□ちひろ美術館・東京  
東京都練馬区下石神井4の7の2。開館時間は午前10時～午後5時。休館日は月曜日(8月10～20日は無休、祝日開館、翌平日休館)。入館料は大人800円、高校生以下無料。

□安曇野ちひろ美術館  
長野県松川村西原3358の24。開館時間は午前9時～午後5時(8月11～19日は午後6時)。休館日は第2・4水曜日(8月は無休)。入館料は大人800円、高校生以下無料。



Life展のキービジュアル「けしの花のなかのあちゃん」1960年代後半

## 安曇野ちひろ美術館 (長野・松川村)

家の内藤広さんで、安曇野の自然を添ったように建っている。

<p><b>木村整形外科</b></p> <p>院長 木村 好行</p> <p>新潟市西区山田503-1 (新潟ふるさと村内)</p>	<p><b>森田整形外科医院</b></p> <p>院長 森田 佳明</p> <p>新潟市中央区関屋昭和町3-152 (関屋公民館隣り)</p>	<p><b>長谷川整形外科医院</b></p> <p>守田 哲郎 長谷川 僚</p> <p>新潟市東区宝町1-16</p>
---	--	---

おかげさまで百十直江津三野屋の元祖 継統

淡白な甘み 高雅な風味 清楚な姿

林美奈子著「放浪記」に 作者の傷心を癒し、生き

継人の命つなぎ

アパート・マンションの空き部屋ありませんか?

空き部屋がありましたら、お電話ください。当社にてお客様に

求地 売地

## 黒姫童話館 & 童話の森ギャラリー (長野・信濃町)

### 名作を生んだアトリエ

ちひろの黒姫山荘は1998 山荘」として公開中だ。黒姫童話館、黒姫童話館の敷地内に移築され、現在は「いわさきちひろ黒姫



黒姫山荘内のアトリエ

「二部復元したのもあるが、食器や家具などほとんどが実際に使っていたものです」と話してくれた。スポーツ万能だったちひろが愛用していたスキー道具なども置かれており、ファンにとってはちひろの息吹を感じるうれしい施設だ。

学芸員の山原清孝さん(44)は「二部復元したのもあるが、食器や家具などほとんどが実際に使っていたものです」と話してくれた。スポーツ万能だったちひろが愛用していたスキー道具なども置かれており、ファンにとってはちひろの息吹を感じるうれしい施設だ。

### ちひろ美術館・東京 (東京・練馬区)

#### 自宅跡 作品を常設展示

絵本美術館として77年に開館した「ちひろ美術館・東京」(開館時は「いわさきちひろ絵本美術館」)は、ちひろの自宅兼アトリエ跡に建てられている。多くの人たちから「ちひろさんの作品を常設で見たい」という声寄せられ、それに応える形で作られた。子どもたちが人生で初めて訪れる美術館「ファーストミュージアム」として利用してほしいという思いから、作品展示の位置を通常より低めに設定している。ほかに、授乳室が完備された「こどものへや」、オーガニック、無添加の食材をできる限り使用したメニューを提供している「絵本カフェ」、国内外の絵本3千冊が配架された「図書室」、復元された「ちひろのアトリエ」などを備えている。



Life展のキービジュアル「けしの花のなかのあちゃん」1960年代後半

館あり。入館料は一般600円、小中学生400円(黒姫童話館)、一般800円、小中学生500円(黒姫童話館&ギャラリー共通)。

□ちひろ美術館・東京  
東京都練馬区下石神井4の7の2。開館時間は午前10時～午後5時。休館日は月曜日(8月10～20日は無休、祝日開館、翌平日休館)。入館料は大人800円、高校生以下無料。

□安曇野ちひろ美術館  
長野県松川村西原3358の24。開館時間は午前9時～午後5時(8月11～19日は午後6時)。休館日は第2・4水曜日(8月は無休)。入館料は大人800円、高校生以下無料。

### 安曇野ちひろ美術館 (長野・松川村)

#### 広い敷地活用、展示豊富

東京の美術館開館20周年を記念して、1997年に開館した「安



曇野ちひろ美術館」。松川村は、ちひろの両親が戦後に開拓民として暮らした場所だ。設計したのは十日町情報館などを手掛けた建築



安曇野ちひろ美術館の外観  
トットちゃん広場に置かれた電車の教室

家の内藤広さんで、安曇野の自然に寄り添うように建っている。広い敷地を生かし、世界の絵本画家や絵本の歴史に関するものなど、豊富な展示を誇る。「美術館内のカフェで使われている椅子はちひろの絵本に出てくるものをモデルに作られているんですよ」と同館スタッフの田辺絵里子さん(34)は教えてくれた。また美術館の周囲には村営の安曇野ちひろ公園があり、園内には黒柳徹子さんのベストセラー「窓際のトットちゃん」の世界を再現した「トットちゃん広場」もある。

【参考文献】「赤い蠟燭と人魚」(童心社)、松本猛著「いわさきちひろ 子どもへの愛に生きて」(ちひろ美術館・東京) 1977～2017

●いわさきちひろ生誕100年「Life展」  
生誕100周年を記念して、ちひろ美術館(東京・安曇野)両館で「Life」をテーマにちひろと、さまざまな分野で活躍する作家がコラボレートする展覧会を展開。現在は東京でアートユニットplaplastによる「あそぶ」が、安曇野ではトラフ建築設計事務所による「こどものへや」が開催中。秋以降は、東京で写真家・長島有里枝さん、安曇野で詩人・谷川俊太郎さんとの企画が予定されている。

□黒姫童話館&童話の森ギャラリー  
長野県信濃町野尻3807の30。開館時間は午前9時～午後5時(山荘は午後4時30分まで)。休館日は5、6、9、10月の末日(日曜祝日の場合はその翌日)、冬期休

へわだ・あきこ1969年、小千谷市生まれ。図書館司書などを経て、夫とともにリハビリデザインスタジオでグラフィックデザイナー、取材編集などを行う。

新潟市 整形外科医院  
ご案内

整形外科・皮膚科  
しまがきクリニック  
院長 島垣 斎  
新潟市西蒲区巻甲4647-1

木村整形外科  
院長 木村 好行  
新潟市西区山田503-1  
(新潟ふるさと村向い)

森田整形外科医院  
院長 森田 佳明  
新潟市中央区関屋昭和町3-152  
(関屋公民館隣り)

長谷川整形外科医院  
守田 哲郎  
長谷川 悳  
新潟市東区宝町1-16